

神奈川県各学校ではそれぞれの校種や地

小

小学校



写真提供：公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会

平塚市の小学校では、子どもたちに海のことや漁業のことを知ってもらおうと、毎年ヒラメの稚魚を放流しています。港でヒラメの成長過程や漁法などを学んだ後に出港し、沖で稚魚を放流します。子どもたちは初めての体験に目を輝かせて参加しています。実際に働いている人の様子を見たり、自分自身でやってみたりすることは、子どもたちにとって大きな経験になっています。

中

中学校



横須賀市の中学校では、「よこすかで働く大人はみんな子ども達の先生」のスローガンの下、教育委員会と横須賀商工会議所が連携し、地元企業（約400社）の協力を得て、地元で働く大人=MTT（マイ・タウン・ティーチャー）が横須賀市内の全中学校の子どもたちに、勤労観や職業観を伝えるキャリア教育プログラムを実践しています。

域に応じて様々な取組みを行っています。

高

高等学校



県立川崎高等学校養蜂部は、川崎という工業地帯のイメージがある都市部で、セイヨウミツバチの飼育・観察・採蜜を目的として活動しています。毎年、夏には川崎区役所との共催、PTAや他の文化部の協力を基に「かわさきハニーフェスタ」を開催しています。この催しを通じて近隣の方々に養蜂部の活動内容を紹介し、蜜源となる花の植栽をしていただくことで、地域の緑化に貢献しています。

特

特別支援学校



県立相模原中央支援学校では、高等部の授業の一環で作るパンを、NPO法人、地域公民館、近隣の高等学校等と連携し、地域で販売する活動をしています。また、生徒たちが授業の中で、食品加工班、流通班、受注班、環境整備班の四つの作業班に分かれ、活動をするを通じて、自立と社会参加に向けて働く意欲を培う学習に取り組んでいます。